

2020年6月11日

おひさま保育室

緊急事態宣言が解除されて2週間が過ぎました。ご家族の皆様には引き続きの登園自粛や、慣らし保育のご協力ありがとうございます。

都内では連日十数人の感染者が出ていますが、東久留米市では5月中旬以降感染者の確認がない状況が続いています。

昨日、おひさま保育室では園医の先生と保育室での新型コロナウイルス対策に関する勉強会を行いました。保育室での対応の追加事項と、第2波に備えてご家庭でできる感染予防のポイントをご紹介します。

1. 保育室での対応

①小児の新型コロナウイルス感染症では咽頭（のど）よりも便からのウイルス量が長期間、大量に排泄されます。オムツ交換の際には保育士の手袋着用を継続するとともに、衣類が便で汚れた場合には保育士の感染を防ぐために衣類は洗わずに袋に入れてお返しします。ご家庭では水洗いのうえ、洗濯してください。新型コロナウイルスは洗剤を使用し洗濯の上しっかりと乾燥させることで、感染力がなくなると言われています。

②上記のように便の中のウイルスが多いこと、子ども同士の接触の機会が増え衛生管理が困難になることから、夏のプール遊びを今年度は行わないこととしました。水をなるべく共有しない、水に浸からない工夫をしたうえで水遊びは行います。今年の夏の気温は全国的に平年並みか高い予想となっております。熱中症には十分注意して水遊びを行いたいと思っています。ご家庭では「緊急事態宣言解除後の保育について」の健康観察のポイントをご参照の上、細かいことでも構いませんのでお子様の体調の変化を教えていただくと助かります。また、子ども達の大好きな水遊びが制限され、大変心苦しく思っています。ご家庭でぜひ水遊びを満喫させてあげてください！

③暑い季節にさしかかってきおり、体温コントロールが未熟な小児にとっては熱があがりやすい季節になって来ています。また、感染予防のため屋外で活動する機会も多くなっております。保育室でも様子を見ながら検温をしていますが、37.5度を超えると連絡をせざるを得ない状況にあります。水分摂取をこまめに促し、衣類の調整をお願いいたします。

2. 第2波に備えてご家庭で出来る感染予防のポイント

新型コロナウイルスは同じ呼吸器感染症であるインフルエンザとは異なる部分があることがわかってきました。小児の感染例が少なく、重症化もまれであると言われていています。しかし、小児への感染が起こりにくいわけではありません。小児の感染例のほとんどは家族内の感染者がおり、家族内感染が疑われています。ご家族の皆様が感染予防行動をとることでお子様への感染を防ぐことができるかもしれません！

- ①出勤時に持ち出す荷物を最小限にする。また、露出する部分を少なくするために上着、帽子を着用する。洋服は洗えるものを選ぶ。密になるところではマスクを着用する。(保育室への送迎時等の屋外の人が少ない所ではマスクを外し熱中症を予防する)
- ②電車、バスの中ではマスクしており、大声で話したり、触れ合ったりすることがほとんどない為クラスターが発生しにくいと言われていています。混雑している時間帯を避け、不用意にあちこち触らないようにする。
- ③水分をこまめにとる。家族でも食事はシェアしないものを選ぶ。
- ④お買い物は少人数でキャッシュレスでの支払いを利用する。
- ⑤帰宅したら上着、靴下やかばんは玄関で脱ぐ。なるべく室内に荷物を持ち込まない。マスクを外してからうがい手洗いをを行う。出来ればそのまま入浴。
- ⑥万が一のときの感染経路や濃厚接触者の把握のために、外出メモを作る。いつ、どこへ何を使って出かけたか、誰とどのくらい接触したか？
- ⑦お子様の予防接種は先延ばしにしない。お子様だけでなくご家族の皆様も極端に受診を避けるのではなく、適切なタイミングで受診し体調を整えておく。
- ⑧オムツ交換のあと、お手洗いにいった後はいつもより念入りに手洗いをする。6

先日、配布させていただいた東久留米市保育園からのお知らせのように、感染者が一人でも出た場合には、休園せざるを得ない状況になります。また、新型コロナウイルス対策は他の感染症の対策にもつながります。報道の通り、新型コロナウイルスは感染をしても無症状であることも多く、発症前から人に移すことが分かっています。保育室ではお子様同士、お子様と保育士が濃厚接触は防ぎきれず、様々な配慮をした上でも感染のリスクをゼロにすることは困難です。お子様と保育士の健康を守るため、また保護者の皆様の就業を保障するために、引き続きご協力をお願いします。